



ふくほうのシンボルマーク

グリーン三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

The Fukuho Bank, Ltd.

発行／平成25年12月
編集／株式会社 福邦銀行 企画部
〒910-0023 福井市順化1-6-9
TEL／0776-21-2500(代表)
<http://www.fukuho.co.jp>

第106期 営業の中間ご報告 [中間ミニ・ディスクロージャー誌]

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで





平成25年12月

取締役会長 三田村俊文

取締役頭取 東條 敬

日頃は福邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。平成25年度は、おかげさまで創立70周年を迎えることができました。株主の皆様、並びに取引先の皆様をはじめ地域のお客様には、多大なるご支援とご理解をいただき心から厚くお礼申し上げます。

このたび当行の経営方針や業績の概要などをまとめました第106期営業の中間ご報告〔中間ミニ・ディスクロージャー誌〕を作成いたしましたので、ご高覧賜れば幸いです。

平成26年3月期中間決算における国内経済は、生産が緩やかな増勢を辿り、個人消費も家計のマインドは概ね堅調を維持しており、日本経済は徐々に頑健性を強めつつも、明るい兆しを見せ始めてきております。先行きについては、米国等での財政面からの下押し圧力が弱まる中で、緩和的な金融環境にも支えられて、緩やかな回復軌道に復するものと見ておりますが、依然として、日中関係の悪化懸念、為替相場の不確実性など、景気を下振れさせる方向の不確実性が高い状況と考えられます。

また、主たる営業基盤である福井県内経済においては、生産は一部で弱い動きが見えるものの、電子部品・デバイス・化学・一般機械が高水準の生産を続けており、住宅投資・企業設備投資も全体的に持ち直しの動きが続いております。また個人消費も、家計のマインドが改善するもとで持ち直しの動きとなっております。先行きについても、国内需要の底堅さと海外経済の持ち直しを背景に緩やかなものになっていくと考えられます。

このような環境下、当行グループは経営強化計画に基づく諸施策を確実に実践するため役員一体となって積極的に業務に取り組んでまいりました。引き続き「地域密着の徹底による経営強化」を基本方針に、「お客様とのコミュニケーション1番銀行」として、中小企業規模事業者および個人のお客様に対する円滑な資金供給や各種サービスの提供を通じて地域金融機関としての使命を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール (平成25年9月末現在/単体ベース)

名称	株式会社福邦銀行 THE FUKUHO BANK,LTD.
本店所在地	福井市順化1丁目6番9号
創立	昭和18年11月5日
資本金	73億円
総資産	4,503億円
預金	4,169億円
貸出金	3,185億円
自己資本比率	8.90% (国内基準)
店舗数	39カ店
従業員数	550名

もくじ

ごあいさつ、プロフィール	1
経営強化計画	2
業績ハイライト	3
金融の円滑化に向けた取組み	5
金融サービスの向上	7
地域の皆様とともに	9
経営強化計画について	10
第106期中間連結財務諸表	11
第106期中間財務諸表 (単体)	12
株式のご案内、株主優待について	13
店舗一覧、お問い合わせ先一覧	14

ふくほう「全力」宣言

目指す銀行像

お客様とのコミュニケーション1番銀行

基本方針

地域密着の徹底による経営強化

基本戦略

- お客様本位の営業の徹底
- 経営資源の最大活用
- 戦略分野のシェア率向上
- 役職員活性化
- 全体最適

お客様が望みかつ喜ぶ金融サービスを提供し収益を生み出す優先順位を明確にし、限られた資源を効果的に活用する業容拡大を牽引する分野を強化し、優位性を確立する目標達成に不可欠な「やる気」を恒常的に発揮させる仕組みを作る各部門、各戦略間で相乗効果を発揮する

重要課題

1.収益力の強化

- (1) トップライン収益増加
 - ・事業者向け貸出の増加
 - ・個人向け貸出の増加
 - ・預金取引の増加
 - ・戦略に合致した組織体制
 - ・有価証券の運用
 - ・営業店中期経営計画の進捗管理
- (2) 経営効率化
 - ・業務効率化、経費削減カイゼン活動
 - ・営業力強化につながるシステム投資
 - ・計画的な動、不動産計画
- (3) 中小規模の事業者に対する円滑化
 - ・中小規模事業者等向け貸出の増加
 - ・経営改善支援取組み (課題解決型提案営業の推進、成長基盤強化支援)
 - ・金融円滑化の取組み

2.組織力の発揮

- 人材の育成
- ・営業店長のマネジメント強化
 - ・女性行員、継続雇用者、臨時職員の活躍促進
 - ・融資審査能力の向上
 - ・専門知識を持った行員の育成

3.ガバナンス態勢の強化

- (1) 自己資本管理
 - ・株式上場準備
 - ・自己資本充実度の向上
- (2) リスク管理態勢の整備
 - ・統合的リスク管理の高度化
 - ・信用リスクの適切な管理
 - ・市場リスクの適切な管理
- (3) 内部統制の堅確化
 - ・業務執行に対する監査・監督の強化
 - ・法令等遵守態勢の整備 (不祥事再発防止の徹底)
 - ・顧客保護等管理態勢の整備
 - ・経営に対する客観性の確保

経営理念

地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全なる経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心

信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

和の心

お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

進取の心

変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

共存共栄の心

お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

業績ハイライト

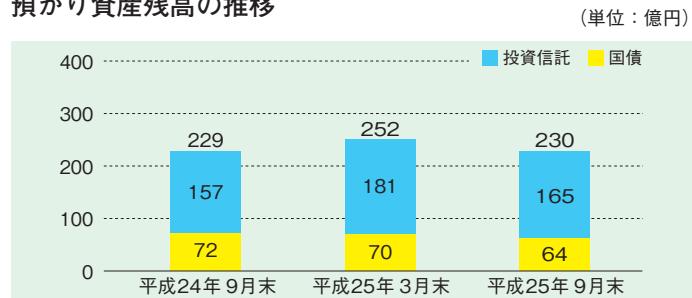
預金等の状況（単体）

預金残高は、法人および個人預金が増加したことにより、前期末比66億円増加の4,169億円となりました。預かり資産残高は、国債および投資信託ともに減少し、前期末比21億円減少の230億円となりました。

預金残高の推移



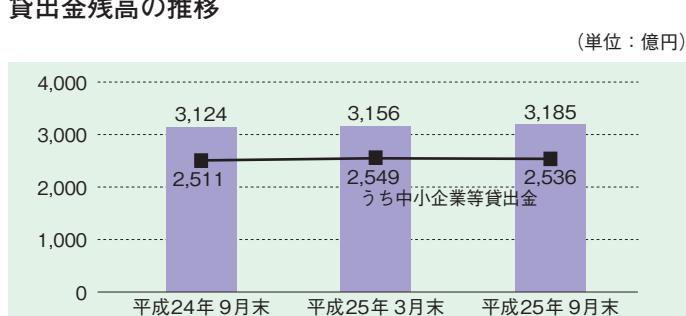
預かり資産残高の推移



貸出金の状況（単体）

貸出金残高は、事業性貸出が増加したことから、前期末比28億円増加の3,185億円となりました。

貸出金残高の推移



(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社または常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等です。

住宅ローン残高・件数の推移



損益の状況（単体）

経常収益は、有価証券売却益の減少により、前年同期比2億29百万円減少し、47億77百万円となりました。銀行の本業部分の収支を示すコア業務純益は、役務利益の増加および経費の削減により、前年同期比1億63百万円増加し7億7百万円となりました。経常利益は、不良債権処理額が減少したことにより、前年同期比4億1百万円増加し、7億44百万円となりました。中間純利益は、経常利益の増加および法人税等調整額の減少により、前年同期比4億27百万円増加し6億円となりました。

用語解説（コア業務純益）

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因（債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額）を差し引いたものです。

コア業務純益

	(単位：百万円)
平成24年9月期	543
平成25年3月期	1,321
平成25年9月期	707

経常利益

	(単位：百万円)
平成24年9月期	343
平成25年3月期	1,056
平成25年9月期	744

中間（当期）純利益

	(単位：百万円)
平成24年9月期	172
平成25年3月期	860
平成25年9月期	600

自己資本比率の状況（国内基準）

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられています。平成25年9月末のリスク・アセット（万一の場合、貸倒れの危険性のある資産）に対する自己資本の額は銀行単体185億円、連結187億円、自己資本比率は単体8.90%、連結8.98%、Tier1比率では単体7.99%、連結8.07%となっております。

(単体)



(連結)



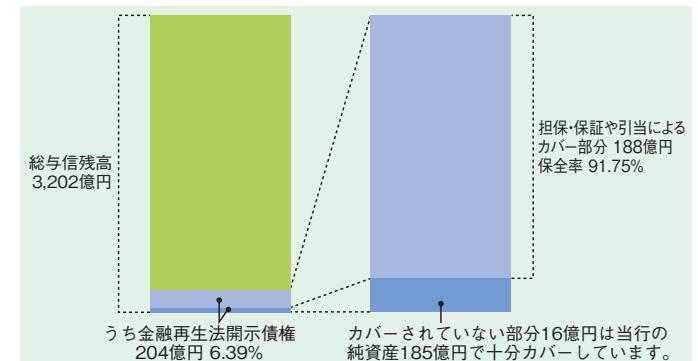
資産査定状況

当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成25年9月末の金融再生法開示債権は前期末比11億円減少の204億円となりました。

なお、金融再生法開示債権204億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当てしている部分も含まれております。開示債権に対する保全額は188億円、保全率は91.75%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

金融再生法開示債権額

	(単位：百万円)		
	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
金融再生法開示債権合計	22,575	21,624	20,490
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,183	2,519	2,256
危険債権	18,657	17,378	16,412
要管理債権	735	1,725	1,821
保全額	21,011	19,664	18,801
貸倒引当金	4,952	5,216	5,036
担保保証等	16,058	14,448	13,765
総与信残高（末残）	314,576	317,544	320,214



金融の円滑化に向けた取組み

当行は創業来、お客様との間で長く続いた親密な関係を強化・維持し、ニーズに応じた金融サービスを提供する地域密着型金融の推進を基本としております。特に、中小企業者等のお客様に対する信用供与を円滑に行うため、お客様の存続・発展に資する金融仲介機能を十分に発揮できるよう努めております。

今後も、中小企業金融円滑化法の終了にかかわらず、「金融の円滑化に関する基本方針」に基づき、貸付条件の変更や円滑な資金供給、経営支援を中心とした相談業務を、これまでと同様に対応してまいります。

【経営支援に関する取組み方針】

- 新たなお借入れのお申込みや、お借入れ条件の変更等のご相談をいただいた場合には、お客様の経営・財務面の特色を踏まえ、きめ細かな経営相談・経営指導・経営改善計画の策定等の経営改善に向けた支援を行います。また、継続的に中小企業のお客様の経営改善の進捗状況を確認・検証し、経営改善計画の見直しを助言・支援してまいります。
- お客様から株式会社地域経済活性化支援機構、事業再生ADR、中小企業再生支援協議会等を通じた事業再生手続きに関するご要請をお受けした場合は、最適な再生手法を活用し可能な限り適切な対応を行います。
- 経営改善や事業再生を直接・間接にサポートする組織である本部専門部署が営業店と一体となりお客様の経営改善に取り組んでまいります。

【経営支援に関する当行の態勢】

1. 経営支援にかかる行内態勢

- 中小企業経営力強化支援法に基づく経営革新等支援機関の認定取得
- 法人営業グループによる情報収集や資金需要に対するご相談やご提案
- 中小企業融資推進室等による本部サポート
- 企業経営支援室による経営改善活動のサポート

2. 行員の目利き能力の向上

- 医療・介護・農業分野に対するコンサルティング資格取得（医療経営コンサルタント2名、医療経営士3級4名、介護福祉経営士2名、農業経営アドバイザー1名）
- M&Aスペシャリスト3名認定登録
- 行内育成スクール等による中小企業診断士資格取得（4名）
- FFP技能検定などの資格取得

3. 経営支援にかかる融資・サービス等

- 事業者ローン「勇士3000」や「フロンティア500」、「ふくほうプライムサポート」、ABL（資産担保貸出、動産・流動資産を活用した融資手法）、機械設備を担保とした「機械担保ローン」などの取扱いによる担保・保証に過度に依存しない融資推進
- 設備資金等をご融資面から応援する「地域貢献特別ファンド」の取扱い
- 中小企業経営診断システム（MSS）を利用した「ふくほう財務診断サービス」の実施
- 福邦銀行ビジネスマッチング情報交換制度や「第二地銀加盟行ビジネス情報交換制度（愛称：B-net）」、商談会開催等によるビジネスマッチングのサポート

4. 外部機関等との連携による経営支援

- 一般社団法人福井県中小企業診断士協会、公益財団法人ふくい産業支援センターと連携した定期的な移動経営相談会の実施
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携による事業承継、海外展開等の支援

- 地元大学が保有する技術情報と地元企業のマッチングに関する支援
- 国土交通省が実施する「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」に関して、パートナー協定を締結、建設業が抱える経営課題に対する支援
- 中小企業再生支援協議会、経営サポート会議等による経営改善支援
- 福井県と県内7金融機関とともに出資し「ふるさと企業育成ファンド」の設立と事業計画サポート
- 県内7金融機関と連携した企業再生ファンド「福井県ふるさと企業再生ファンド」の設立



移動経営相談会

ふくほう財務診断サービスのご案内

中小企業のお客様の企業経営支援の一環として「中小企業経営診断システム（MSS）」を利用した簡易な診断サービスを開始いたしました。ご利用料は無料です。くわしいサービスにつきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお申し付けください。

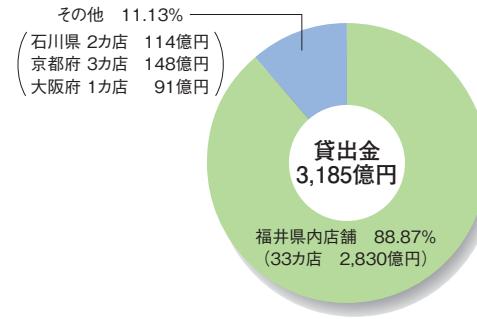
※なお、財務診断の結果は、融資の審査の判定に用いるものではなく、あくまでお客様の財務状況の把握、経営改善に活用していただくことを目的としたものです。また、数値は絶対的なものではなく、ひとつの目安としてください。

6000先訪問運動

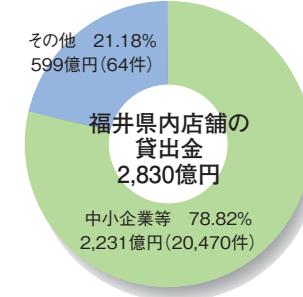
ご融資先との関係強化と新たなご融資先への訪問運動として全店で6000先訪問運動に取り組んでおります。

地域の皆様へのご融資

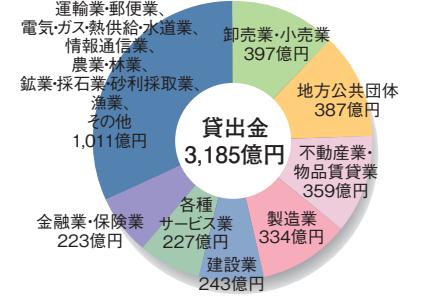
店舗所在地別の貸出金状況（単体） （平成25年9月末現在）



福井県内店舗の貸出金に占める 中小企業等貸出金の状況（単体） （平成25年9月末現在）



業種別貸出金の状況（単体） （平成25年9月末現在）



地域密着型金融の推進（平成25年4月～平成25年9月）

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

- 創業・新事業開拓支援………13件
 - ・ 経営革新・新連携等公的制度を利用した支援
- 成長段階における更なる支援………65件
 - ・ 公益財団法人ふくい産業支援センターと連携した移動経営相談会の実施
 - ・ 一般社団法人福井県中小企業診断士協会との業務提携
 - ・ ビジネスマッチング、その他経営相談等
- 事業再生支援………64先
 - ・ 中小企業再生支援協議会や外部専門家等との連携強化
 - ・ 公益財団法人ふくい産業支援センターおよび産学官との業務連携・協力協定の活用

2. 地域の面的再生への積極的な支援

- 福井県内の各金融機関と福井県が創設した「ふるさと企業育成ファンド」（新分野展開スタートアップ支援事業）への参画
- 「ふくほう成長基盤強化プログラム」の積極的な推進
- 「子育て応援バンク」の取組み推進
 - ・ 小学生、大学生を対象とした「職場見学会」の実施

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- 株主の皆様、お客様および地域社会の皆様に行の経営に対する理解を深めていただき、経営の透明性を確保することを目的として、プレスリリースやディスクロージャー誌、ホームページへの掲載を通じて、四半期決算報告や地域密着型金融の推進に向けた取組み、金融円滑化に向けた取組み等、迅速かつ充実した情報開示に取り組んでおります。

金融サービスの向上

■お客様への感謝【創立70周年記念】

福邦銀行創立70周年記念の感謝を込めて、平成25年5月より、懸賞品付き定期積金「夢バンク70」を発売、また、全店で開催するお客様感謝デーと合わせて、金利上乘せ定期預金「感謝の気持ち」を発売いたしました。

また、平成25年6月より「ありがとうATM利用キャンペーン」として、当行ATMからのお引出しの際に出力するご利用明細書に『当たり』が出たら、もれなく好きな商品をプレゼントするキャンペーンを実施しております。



70周年記念ポスター

(キャンペーン実施期間：平成25年6月17日から同12月31日)

ご融資面では、「マイカーローンキャンペーン」の金利割引サービスを実施いたしました。

平成25年下期も同様に、実施いたします。

■相続定期預金

相続でお受け取りになられたお客様の資産運用ニーズにお応えするため、相続専用の定期預金を取り扱っております。相続手続き完了後1年以内に、相続による資金をお受け取りになられ、店頭表示のスーパー定期3ヵ月または6ヵ月金利に、一定の金利を上乘せいたします(100万円以上で、お受け取りになられた金額が上限となります)。

(実施期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日)

■法人のお客様向けへの利便性向上

平成25年8月より、当行に設置されている単独のATMで「お引出し・お預入れ・お振込み・残高照会」等、キャッシュカードでのお取引が可能となりました。また、セブン銀行、ゆうちょ銀行でもご利用になれます(ゆうちょ銀行は、利用手数料がかかります)。

■コンサルティング機能の充実

医療・介護福祉事業、農業分野に関する経営管理など、金融機関としての専門的なコンサルティング能力を発揮し、お取引先のビジネスチャンスに繋がられるよう、金融面の相談業務に従事しております。

「医療経営コンサルタント2名、医療経営士3級4名、介護福祉経営士2名、農業経営アドバイザー1名」

■環境への取組み

当行の経営理念である、地域社会への貢献のもと、全員参加による環境保全への取組みを積極的に行っております。当行では、持続可能な社会への寄与を目的として、環境省より策定された「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に署名し、環境に配慮した金融商品・サービスの提供、役職員の意識向上に取り組んでおります。

<環境に配慮した金融商品・サービス等>

- リフォームローンの金利割引サービスに、エコ住宅(オール電化住宅、LPガス、太陽光発電システム)を対象条件に設定
- マイカーローンの金利割引サービスにエコカー購入を対象条件に設定
- 事業性融資「ふくほうプライムサポート」の金利割引サービスにISO14001またはエコアクション21認証取得を対象条件に設定
- エコクロス通帳、カーボンオフセット通帳の導入、ほか

<取り組み状況>

- デマンド制御装置の設置
最大需要電力(デマンド値)の引下げを目的に、本店にデマンド監視システムを導入しました。これにより、使用電力量を設定されたデマンド値で電力を制御することでピーク時の電力カットを図ります。
- 新型自動機(省電力対応ATM)の導入
- クールビズの前倒し実施
全店において、役職員の省エネマインドを醸成するとともにCSRの一環として、クールビズに取り組んでおります。
- ウォームビズおよび節電行動の実施

「お客様の声」にお応えして

金融サービス向上を目指し毎年「お客様の声」アンケートを実施しております。お寄せいただいたご意見やご要望をもとに平成25年上期は、主に次のような取組みを行いました。

- 「ふくほう個人WEBバンキング」の24時間稼働、スマートフォン対応を開始しました。
- 松岡支店および村国支店ATMの365日稼働を開始いたしました。
- 「ふくほう法人WEBバンキング」をより使いやすいように、全面リニューアルいたしました。
- 快適な利用環境により、親しまれる店舗づくりを目指して店舗・ATMコーナーの改装、駐車場の拡大、スロープ設置等によるバリアフリーへの対応に取り組んでおります。

※商品・サービスの詳細につきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

地域の皆様とともに

子育て応援バンクの取組み

少子化問題に対応するためCSR活動の一環として「子育て応援バンク」を宣言し、地域のお客様の子育てを金融面から応援する取り組みを行っております。

児童手当をお受け取りのお客様を対象とした「児童手当受取口座のATM振込・利用手数料キャッシュバックサービス」をはじめ消費者ローン子育て金利割引制度、子育て応援定期、子育て応援に積極的な企業のお客様向け事業性融資商品の金利割引の取扱いのほか、金融経済教育「親子マネー教室」の開催にも取り組んでおります。

また、福井県が推進するママ・ファースト運動「すまいるFカード事業」に協賛しております。



子育て応援バンクのマーク 行員手づくり創作童話（ゆめたろうとドーナツやさん）より©

平成25年6月20日、小学2年生を対象とした「職場体験学習」を若杉支店で開催し、金庫やATM機械室などを見学した後、札勘定・硬貨巻きなど銀行の仕事を体験しました。

平成25年8月4日、美浜町総合体育館で開催し、三方地区（美浜町・若狭町）の小学3年生から6年生が、銀行窓口業務の模擬体験など、銀行の仕事を体験しました。今後も、地域金融機関としてこのような活動を継続して取り組んでまいります。



若杉支店での職場体験



三方五湖キッズタウン

福邦カップ争奪ゲートボール大会の開催

地域のお客様の交流や健康づくりにお役立ていただくため平成25年8月に「第6回福邦カップ争奪ゲートボール大会」を開催いたしました。



平成25年度は約1,000名の選手の皆様のご参加をいただきました。

音声ガイダンス機能付ATMの設置

目の不自由なお客様に、操作をスムーズに行っていただけるよう音声ガイダンス付ATMを設置しております。ATM画面横に設置の電話機型ハンドセットからナレーションを聞きながらボタン操作でご案内いたします。



電話機型ハンドセット



経営強化計画について

目標とする経営指標

平成23年8月に公表いたしました経営強化計画における目標とする経営指標は次のとおりです。引き続き同計画に基づいた様々な施策に積極的に取り組んでまいります。

【コア業務純益ROA】 (単位：百万円、%)

項目	23年3月期 実績(計画始期)	25年3月期 計画	25年3月期 実績	26年3月期 計画	計画始期からの 改善計画
コア業務純益	1,549	1,762	1,321	2,160	611
総資産平均残高	435,617	442,984	437,580	447,937	12,320
コア業務純益ROA	0.35	0.39	0.30	0.48	0.13

※コア業務純益ROA＝コア業務純益÷総資産平均残高

【業務粗利益経費率】 (単位：百万円、%)

項目	23年3月期 実績(計画始期)	25年3月期 計画	25年3月期 実績	26年3月期 計画	計画始期からの 改善計画
経費(機械化関連費用を除く)	5,182	5,111	4,868	5,111	△72
業務粗利益	8,048	8,130	7,821	8,426	379
業務粗利益経費率	64.39	62.86	62.24	60.65	△3.74

※業務粗利益経費率＝経費(機械化関連費用を除く)÷業務粗利益

【中小規模事業者等向け信用供与の残高、比率】 (単位：百万円、%)

項目	23年3月期 実績(計画始期)	25年3月期 計画	25年3月期 実績	26年3月期 計画	計画始期からの 増減計画
中小規模事業者等向け貸出残高	158,519	162,000	160,706	164,000	5,481
総資産末残	431,895	440,088	437,237	444,105	12,210
中小規模事業者等向け貸出比率	36.70	36.81	36.75	36.92	0.22

※中小規模事業者等向け貸出比率＝中小規模事業者等向け貸出残高÷総資産末残

※中小規模事業者等向け貸出とは銀行法施行規則別表第一における「中小企業等」から個人事業者以外の個人を除いた先に対する貸出で、かつ次の貸出を除外したもの
政府系出資主要法人向け貸出および特殊法人向け貸出、土地開発公社向け貸出等、大企業が保有する各種債権または動産・不動産の流動化スキームに係るSPC向け貸出等、その他金融機能強化法の趣旨に反するような貸出

【経営改善等支援取組率(地域経済への活性化への貢献の状況を示す指標)】 (単位：先、%)

項目	23年3月期 実績(計画始期)	25年3月期 計画	25年3月期 実績	26年3月期 計画	計画始期からの 増減計画
創業・新事業開拓支援	19	15	22	15	△4
経営相談・早期事業再生支援	113	125	125	140	27
事業承継支援	5	2	5	2	△3
担保・保証に過度に依存しない融資促進	55	80	84	100	45
合計〔経営改善等支援取組数〕	192	222	236	257	65
取引先総数	4,820	4,970	4,832	5,150	330
経営改善等支援取組率(＝経営改善等支援取組数/取引先総数)	3.98	4.46	4.88	4.99	1.01

※取引先総数＝企業先＋個人ローンまたは住宅ローンのみ先を除く個人事業者で融資残高のある先

経営諮問委員会の開催

当行では、取締役会の諮問機関として経営諮問委員会を設置しております。外部有識者の方から、地域への信用供与の円滑化や地域経済活性化に向けた経営戦略など、客観的な立場で評価および助言・提言をいただきます。助言等は経営に反映することで経営の客観性と透明性を高めてまいります。第9回の同委員会は平成25年7月に開催いたしました。

第106期中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	18,762
有価証券	110,639
貸出金	318,999
外国為替	146
その他資産	1,904
有形固定資産	4,573
無形固定資産	484
繰延税金資産	504
支払承諾見返	1,458
貸倒引当金	△ 6,878
資産の部合計	450,595
(負債の部)	
預借金	416,814
その他負債	5,800
賞与引当金	5,673
退職給付引当金	268
役員退職慰労引当金	859
睡眠預金払戻損失引当金	204
利息返還損失引当金	50
偶発損失引当金	2
再評価に係る繰延税金負債	186
支払承諾	556
支払承諾	1,458
負債の部合計	431,874
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
利益剰余金	3,528
自己株式	△ 206
株主資本合計	16,879
その他有価証券評価差額金	1,072
土地再評価差額金	769
その他の包括利益累計額合計	1,842
純資産の部合計	18,721
負債及び純資産の部合計	450,595

中間連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	4,838
資金運用収益	3,703
(うち貸出金利息)	(2,954)
(うち有価証券利息配当金)	(741)
役務取引等収益	609
その他業務収益	336
その他経常収益	187
経常費用	4,345
資金調達費用	184
(うち預金利息)	(171)
役務取引等費用	421
その他業務費用	274
営業経費	3,059
その他経常費用	406
経常利益	492
特別利益	—
特別損失	3
固定資産処分損	2
減損損失	1
税金等調整前中間純利益	488
法人税、住民税及び事業税	50
法人税等調整額	90
法人税等合計	141
少数株主損益調整前中間純利益	347
中間純利益	347

第106期中間財務諸表 (単体)

中間貸借対照表 (平成25年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	18,762
有価証券	111,008
貸出金	318,545
外国為替	146
その他資産	1,523
有形固定資産	4,573
無形固定資産	483
繰延税金資産	504
支払承諾見返	1,458
貸倒引当金	△ 6,638
資産の部合計	450,369
(負債の部)	
預借金	416,980
その他負債	5,800
未払法人税等	5,485
リース債務	48
資産除去債務	404
その他の負債	55
賞与引当金	4,977
退職給付引当金	266
役員退職慰労引当金	856
睡眠預金払戻損失引当金	204
偶発損失引当金	50
再評価に係る繰延税金負債	186
支払承諾	556
支払承諾	1,458
負債の部合計	431,844
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
資本準備金	6,256
利益剰余金	3,332
利益準備金	6,256
その他利益剰余金	169
繰越利益剰余金	3,162
自己株式	3,162
自己株式	△ 206
株主資本合計	206
その他有価証券評価差額金	16,682
土地再評価差額金	1,072
評価・換算差額等合計	769
純資産の部合計	1,842
負債及び純資産の部合計	18,524
負債及び純資産の部合計	450,369

中間損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	4,777
資金運用収益	3,693
(うち貸出金利息)	(2,944)
(うち有価証券利息配当金)	(741)
役務取引等収益	560
その他業務収益	336
その他経常収益	187
経常費用	4,033
資金調達費用	183
(うち預金利息)	(171)
役務取引等費用	403
その他業務費用	274
営業経費	3,018
その他経常費用	154
経常利益	744
特別利益	—
特別損失	3
固定資産処分損	2
減損損失	1
税引前中間純利益	740
法人税、住民税及び事業税	49
法人税等調整額	90
法人税等合計	140
中間純利益	600

株式のご案内

- 事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 株主総会**
定時株主総会は毎年4月1日から3ヵ月以内に招集し、臨時株主総会は、必要があるときにこれを招集いたします。
- 定時株主総会の基準日**
定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。
- 剰余金の配当の基準日**
期末配当の基準日は毎年3月31日といたします。
中間配当を行う場合には、毎年9月30日を基準日といたします。
- 単元株式数**
単元株式数は、1,000株といたします。
- 株式事務取扱場所**
 - 株主名簿管理人
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 - 郵便物送付先
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) フリーダイヤル0120-288-324
(ご利用時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く)
 - 同取次所
みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所
株式会社福邦銀行 本店および各支店
- 公告方法**
福井市において発行する福井新聞に掲載いたします。

株主優待について

平成25年3月31日現在の1単元(1,000株)以上保有の株主様に次の株主優待を実施しております。

- ①金利上乘せ定期預金
ご利用期間 平成25年7月1日~平成26年6月30日
- ②粗品進呈
発送時期 平成25年6月

店舗一覧 (39カ店)

(平成25年10月末現在)

福井県 (33カ店)

本松	支店	(0776)21-2500
幾久	支店	(0776)23-0880
日の出	支店	(0776)21-2830
新田	支店	(0776)26-2400
若塚	支店	(0776)23-4011
堀杉	支店	(0776)35-0700
成宮	支店	(0776)21-5700
高和	支店	(0776)21-6360
森木	支店	(0776)53-3500
社田	支店	(0776)56-3170
花堂	支店	(0776)34-2190
開発	支店	(0776)34-2870
春日	支店	(0776)53-6600
春江	支店	(0776)36-8480
三金	支店	(0776)51-0089
丸津	支店	(0776)81-3141
松岡	支店	(0776)73-0222
勝岡	支店	(0776)66-2010
大野	支店	(0776)61-0063
鯖江	支店	(0779)88-1576
神立	支店	(0779)66-3650
今立	支店	(0778)51-2870
今立	支店	(0778)52-6500
今立	支店	(0778)42-2030

武生	支店	(0778)24-3210
村国	支店	(0778)23-9290
越前	支店	(0778)37-1022
敦賀	支店	(0770)22-5522
美浜	支店	(0770)32-1137
三上	支店	(0770)45-0078
上中	支店	(0770)62-0031
高浜	支店	(0770)52-2910
高浜	支店	(0770)72-1311

石川県 (2カ店)

小松	支店	(0761)22-7373
金沢	支店	(076)262-0266

京都府 (3カ店)

舞鶴	支店	(0773)75-1290
東舞鶴	支店	(0773)62-4603
京都	支店	(075)231-6171

大阪府 (1カ店)

大阪	支店	(06)6352-5051
----	----	---------------

お問い合わせ先一覧

お問い合わせ内容	連絡先	受付時間	
WEBバンキング、でんさいネット	ふくほうインターネットバンキングヘルプデスク 0120-898-294	平日	9:00~21:00
住宅ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、学資保険、個人年金保険、年金お受取りのご相談	ゆめプラザ(四ッ居) 0120-683-294	平日(水曜定休) 土・日・祝日	9:00~19:00 10:00~17:00
金融円滑化に関するご相談	融資部 0120-067-294	平日	9:00~17:00
ローン申込み、お問い合わせ	コールセンター 0120-687-294	平日	9:00~21:00
キャッシュカード・通帳の紛失	お取引店	平日	8:45~17:00
	自動機監視センター(上記以外) 0120-013-294	365日	24時間
偽造・盗難キャッシュカード被害に関するご相談 ご意見・ご要望	お取引店 顧客サービスセンター 0120-298-294	平日	9:00~17:00